

若年者における運転免許保有率の低下

Michael Sivak and Brandon Schoettle

Traffic Injury Prevention, 2012, vol. 13, p. 341

要約

過去に報告した 2 つの研究において、我々は、若年者の運転免許保有率が、米国を含む幾つかの国々で、近年、大幅に低下していることを示した。この更新版では、1983 年、2008 年、2010 年における連邦道路管理局による運転免許データと米国内務省による一般人口データを用いて米国における分析を広げた。結果、一般的な傾向が続いていることが示された。例えば、1983 年、2008 年、2010 年における 19 歳の運転免許保有率は、それぞれ、87.3%、75.5%、69.5%であった。

キーワード： 運転免許取得、若年ドライバー、高齢ドライバー